

8万9千人の人出でにぎわう 11基の爆走ねぶたが跳ねる

ファイナーレは300機のドローンショー

第34回柳井金魚ちょうちん祭り(同協議会主催)が13日、柳井市合併20周年記念として盛大に催され、8万9千人の人出でにぎわった。午後5時、来賓に北

村経夫参議院議員、有近真知子県議、櫻田宏弘前市長らを迎えてオープニングセレモニーを開催。主催者を代表して協議会長の井原健太郎市長が「この夏最高の時間を最高の家族、最高の友だちと過ごして下さい」と祭り客を歓迎。来賓を代表して北村参議院議員は「金魚ちょうちんが織りなす幻想的な灯



金魚ちょうちん祭りの華「爆走金魚ちょうちんねぶた」

りの中で大切な思い出をしっかりとついで下さい。有近県議は「皆で最後まで楽しみましょう」とあいさつ。櫻田弘前市長は「幕末から伝わる縁をしっかりと育て上げていくことがこれからの時代大事と感じています。交流する、関係人口を増やしていくことが地域の経済を活性化させていき、地方も元気を続けていけると思っています」と述べ、

弘前市のねぶた祭りの掛け声となつている「ヤーヤードー」を祭り客と三唱して、祭りの成功を願った。セレモニーが終わると祭りの主役金魚ちょうちんねぶたの出陣式が始まった。今年も10団体から11基のねぶたが出陣。出陣式を前に



青森ねぶた祭りの掛け声「ヤーヤードー」で金魚ちょうちん祭りの成功を願う櫻田弘前市長



大人気チビッコによるねぶた引き回し

うちんねぶたの出陣式が始まった。今年も10団体から11基のねぶたが出陣。出陣式を前に

ルンビニ保育園児による文珠太鼓と山城太鼓が、迫力のある演奏を披露してこれから幕を開ける爆走を後押し。1基ずつ紹介が行われると、引き手たちは右



金魚ちょうちんねぶたの出陣式に華を添えるルンビニ保育園児による文珠太鼓

へ左へとねぶたを回し、「ラッセラー」の掛け声と共に爆走の余りの回転に遠心力に負けてはじき飛ばされる引き手もあり、一気に祭りが盛り上がった。チビッコ

も参加できる引き回しもあり、あまりの人氣振りに人数制限に大わらわの場面も。金魚ねぶたの爆走は藤間流・花柳流・若柳流の3流派による「金魚ちょうちん踊り」を挟んで2回目の爆走があり、ファイナーレ向け、引き手たちは1回目よりもさらに気合いを込めて祭り客の歓声に込めていた。



祭りのファイナーレを飾ったドローンショー

祭りのファイナーレは、柳井市合併20周年記念イベントとして山口県東部初となる「ドローンショー」が飾った。柳井の夜空を300機のドローンが舞い、祭りの主役、金魚ちょうちんを彩ったり、様々なフォーメーションで光のショーを繰り広げ、祭りを締めくくった。